

## 合格者オリエンテーション（3月20日）

### 「高校3年間 珠玉のごとく」

皆様方、こんにちは。校長の狩野と申します。鶯がなき、菜の花が咲き、本格的な春はすぐそこまで来ています。町のあちこちがピンク色に染まるのも間もなくです。中学生のみなさんには、一足先に春が来て、桜の花が満開に咲き誇っています。改めまして中学生のみなさん、保護者の皆様方、合格おめでとうございます。今日、ここにたどり着くまでは、山あり谷ありで様々なドラマがあったと思います。今年は倍率も上がりましたので不安もあったことでしょう。よくぞ難関を突破してきました。合格発表の時の歓声、笑顔、涙もありました。自分の受験番号を見つけた時の感動、喜びは大切に胸の中に永久保存しておいてください。

さて、本日はご多用の中に合格者オリエンテーションにお越しく下さりありがとうございます。昨年から学校説明会やオープンスクールなどいずれかの会場で皆様とはお会いしていると思います。あの頃私たちは他人同士でしたが、これからは身内です。つい一週間ほど前、中学校の仲間、先生、後輩、学び舎に別れを告げてきたばかりですが、別れのあとには必ず出逢いが待っています。今日は12の中学校を卒業したばかりの107人の生徒の皆さんと保護者の皆様が一同に会していただきました。間もなく口加ファミリーの一員になられますので、よろしく願いいたします。

さて、間もなくみなさんは高校生になります。スポーツ選手が現役を引退することを、ユニフォームを脱ぐと表現します。皆さんにとっては中学校の制服を脱ぐ日が来ました。その制服を着ることは、人生において二度とありません。人生は「時間」という乗り物に片道切符で乗っているようなものです。後戻りできないのが人生です。しかし、もし神様が私に「人生をもう一回やり直すチャンスやるから、いつに戻りたいか」と言われたら、私は迷わず、高校時代に戻してください。と言います。なぜならば、高校時代の過ごし方でその後の人生が大きく変わる、ということは今思うからです。長い人生の基盤を作ったのは高校時代だった、というのが今になって分かるからです。後になって後悔しないよう、もう一度、精一杯高校時代を生きてみたいと思うからです。残念なことに人生というのはその時は分からないけれども、後々気付くことがたくさんあります。「高校時代の時間がいかに貴重か」それも卒業後して初めて気付きます。高校3年間は大事だからね、ということを経験としてではなく、人生の先輩として伝えておきます。大きな人生のターニングポイントがやってくるのが高校時代です。気が早いですが、高校卒業後の進路、将来の目標、夢など、ぼんやりでもいいのでだいたい決めていくというひとはどれくらいいますか。（30人くらいいますね。）高校時代は生涯にわたって自分が進むべき道を探す時間でもあります。

私は、高校教員になって丁度この3月で30年になります。何百人という生徒を見てきて、一つ言えることは、目的意識の高さが高校時代の成否を左右するという事です。つまり、進路でも、日々の学習でも、部活動でも目指しているものがあるかど

うかで高校時代の行きつく場所が違うということです。

そこで、みなさんに一つ宿題を出します。「何を成すために口加高校に来たのか」ということを考えて、自分なりの答えをもって4月8日の入学式に臨んでください。それが私から皆さんへの宿題です。

それでは、これから担当から説明をいたします。教科書や制服などの物品の準備と併せ、高校生になる心の準備をする日にしてください。